

会議の名称	令和6年度第2回あま市スポーツ推進連絡会議
開催日時	令和7年2月12日（水）午後7時から8時15分
開催場所	あま市役所 2階 E会議室
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 令和6年度第1回あま市スポーツ推進連絡会議議事録について</p> <p>4 議題</p> <p>（1）令和6年度第1回あま市スポーツ推進連絡会議における意見と検討状況について</p> <p>（2）令和6年度スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目の状況報告について</p> <p>（3）意見交換</p> <p>【テーマ】 スポーツへの関心を高める機会の提供について</p> <p>5 その他</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・名簿 ・座席表 ・【資料1】 令和6年度 第1回あま市スポーツ推進連絡会議録 ・【資料2】 令和6年度 第1回あま市スポーツ推進連絡会議における意見と検討状況について ・【資料3】 令和6年度 スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目（取組状況） ・【資料4】 スポーツへの関心を高める機会の提供について
出席委員	<p>石塚吾歩路会長、石塚建伸副会長</p> <p>川寄寛繼委員、木全克己委員、田中裕美委員、石黒孝委員、竹田竜一郎委員、立松武子委員、石原晶子委員、中村博美委員</p> <p>（委員名簿順）</p>
欠席委員	なし
事務局	<p>（教育委員会）</p> <p>伊藤克仁教育長、鎌倉崇志教育部長</p> <p>（教育部スポーツ課）</p> <p>小関勝課長、栗原一成主幹、田口健次郎主幹、水野晃寛課長補佐、菅原孝徳課長補佐、山田昌也課長補佐</p>

会議の経過

1 開会

2 石塚吾歩路会長あいさつ

3 令和6年度 第1回あま市スポーツ推進連絡会議録について事務局から説明 【質疑応答】

なし

4 議題

(1) 【資料2】 令和6年度 第1回あま市スポーツ推進連絡会議における意見と検討状況について事務局から説明

【質疑応答】

委員：「8）地域全体でスポーツを楽しむコミュニティースクール、地域の学校協働活動、放課後子ども教室などで縦長の繋がりの中で成長し合うのが理想」とあるが地域の学校協働活動について、まだまだ理解されていない。

(2) 【資料3】 令和6年度スポーツ推進計画に係る関係課の取組項目の状況報告について事務局から説明。

【質疑応答】

なし

(3) 意見交換

【資料4】 スポーツへの関心を高める機会の提供について事務局から説明

【質疑応答】

委員：今後の課題の1ですが、あま市の施設は大体50年ぐらい経過していますか。

事務局：近い数字である。

委員：各団体によると、エアコンが効かない、エアコン代が高いとの意見がある。もっと施設を利用しやすくしてほしい。

会長：体育館の施設の施設維持管理、料金のことについて。

事務局：七宝総合体育館は、昭和58年に建設されて41年、甚目寺総合体育館は平成2年に建設されて33年が経過。エアコンについては、甚目寺にはエアコンが設置されているが、七宝は設置無。以前、エアコン設置を検討したが費用面などの問題があり困難と判断。体育館は、再配置計画等により統合を視野に考えると莫大な金額をかけ修繕、改修は難しい。利用については、利用緩和などを進める。

会長：あまスポーツクラブでは、スポーツが得意でない子供たちや親

子が一緒におこなえる工夫をし、様々な講座や教室を開いている。市民が興味を持って参加可能な企画、PRの取り組みは。

委員：あまスポーツクラブの2025年度の講座の募集案内。あま市で、「明るく元気にいつまでも」「まわりの仲間といつまでも」あまスポーツクラブは「誰でも気軽に楽しく」スポーツに親しめる場づくりを地域の皆さんと共に進めています。あまスポーツクラブでは、4年前よりeスポーツを検討中。eスポーツは、ワールドカップも開催され、高齢者の健康、介護予防に有効な手段の一つ。文科省によると、子供たちのスクリーンタイム、DVDゲーム、スマートフォン、パソコン等で1日、2、3時間過ごし、体力テストでは、5種目の体力が落ちたとある。健全育成は、身体活動をスポーツの中に取り入れる見直しが必要。現在、新規募集中、バトミントン講座、ジュニアバスケット講座は人気が高く抽選。フラダンス、バランスボール、ヨガ等の6講座は継続。走ろう歩こう会の開催時、モルック体験会を行い、体験者多数有。老人クラブの参加者は、近年歩行困難のため着座体制で参加可能なモルックは、老人クラブ向けであるという意見有。

委員：バトミントンの人気が高く、学校では、2時間目の休み時間、給食終、子どもたちが行い興味を持つと、子どもの口から「クラブチーム等に見学に行ってみたい」と保護者に伝われば良いと思う。冬期は、ジョギング、短い縄跳び、長い大縄跳び等をおこなっている。学校企画として、縄跳びのチャレンジ検定をおこなっている。金賞、銀賞、銅賞等を設定して開催。学級の中で「頑張れ頑張れ」と声をかけ、学級の雰囲気良くなり和や絆が作れていると思う。バスケットボールも人気があり、名古屋で活動するプロのバスケットボール選手を招き、デモンストレーション等をおこない生徒たちにバスケットに興味を持つというような取り組みをしている中学校もある。

会長：子ども会では、縄跳びの大会があると聞いているが、大会に関心持つようどのような取り組みをしているか。

委員：以前はドッチボールを主流でおこなっていたが、コロナ禍後から長縄跳びをおこなっている。本日配布の「まっるとあま1月号」の6ページに、昨年12月7日におこなった、あま市子ども会スポーツ大会の記事を掲載。あま市内、地区の子ども会の方が長縄八の字跳びに参加し、上位4位までのチームがあま市代表として1月25日に飛島村で開催された第53回海部地区子供会スポーツ大会に出場。レベルの高い大会であった。社協だによりにより、子ども会に少しでも関心を持ってもらえるように告知している。新聞など様々なメディアを活用し広くPRしている。

- 会 長：商工会では、様々な事業やイベントを開催しているが、PRが上手だと思うが参考になるアイデアはないか。
- 委 員：商工会青年部が子ども向けのイベントで紙飛行機やストラックアウトで遊び、盛況であった。商工会青年部は、啓発活動として、各小学校、中学校に案内チラシを配布、あま市の協力を仰ぎ、愛知県広報でも発信。最近は、Instagram、Facebook、TikTokなどのSNS。若者は、SNSで発信すると非常に反応が良い。海部東部消防署は去年からSNSを始めて、その効果で今年の出初め式は、沢山の来観者があった。商工会は、新しい部会を立ち上げるにも、人材不足、高年齢化、予算などの問題があり現実に至らず。商工会では色々な団体と一緒に協力し合いながら事業やイベント開催希望。縄跳び大会に商工会がコラボして、ギネスに挑戦しよう等、みんなで楽しくをモットーに考えている。
- 会 長：SNSは今の時代にマッチング。
- 委 員：「長縄八の字跳び」あま市代表の子どもたちは、朝礼で表彰され、また雑誌に掲載されたことで、大変喜んでいて、中学校は部活動がある。全員部活動制ではないが、多くの生徒が部活動に所属。ある中学校では入学する前に、部活動に興味を持ってもらうように部活動の紹介や見学を行っている。保護者に対して中学校入学説明会があり、部活動の種類や内容及び活動時間等を紹介。
- 会 長：ラジオ体操は、地味ではあるが人気、ファン多数「ラジオ体操の集い」を長く継続。
- 委 員：ラジオ体操はリピーターが多い。参加者より、ピアノ（キーボード）の生演奏がよかったとの意見有。また、参加賞に期待している。以前は、保冷バックなど良いものが出ていた。最近ではティッシュ、洗剤、フェイスタオルなど。ラジオ体操に来ているのか参加賞をもらいに来ているのかというような人がいるのが現実。日曜日の午前中に、あま市教育委員会主催、あま市スポーツ推進委員が主管している行事や事業があるとき、その時だけグラウンドや体育館の開放を止めて、できるだけその行事や事業に参加するようPRをしたら、もう少し盛り上がるのではないかなと思う。何が言いたいかというと、日曜日は、スポーツ少年団の活動があり、その活動を優先し参加し辛い、必ず参加のスポーツ少年団もある。午前中の学校開放を止めスポーツ少年団が参加しやすくする。
- 会 長：レクリエーションの関係での工夫は。
- 委 員：私たちは、レクリエーションですので、クラフトからスポーツから色々取り入れている。毎年、遊びフェスタ（レクリエーション

ョン) 開催。200人から300人の親子が参加。レクリエーションのみでなく、こども会の縄跳びや、商工会や市民活動センターのイベント、福祉課や健康推進課の健康体操などをひとまとめにすると市として盛り上がるのではないのか。

会 長：親子が気軽に参加できるための工夫は。

委 員：毎月、体操、リトミック、母子ヨガなど親子ふれあい交流会を開催。SNSで周知。イベントなどでは、チラシには公式ラインのQRコードがあり、イベントの紹介や会員登録ができる。公式ラインでは、文字だけでは効果がなく、雰囲気もわかるように動画で配信。今後は、T i k T o kも活用予定。

委 員：市民活動担い手の方々が、高齢化や今あるセンターのサービスを必要としないことにより登録する団体が減少。SNSを活用し紙のチラシを要せず。他の団体も同様。イベントでは、必ず公式LINEに登録して、その人たちにプッシュ通信。シニア参加者も、SNSを巧みに使っている。

ただし、共同で情報共有しイベントや事業をおこなわないと資源が乏しい。登録している、にこりパークという団体がある。親子で以前の子ども会。しかし子供会に所属しないで、仲間が集って、七宝焼アートビレッジでにこり運動会を開催。団体に声をかけて、いろんな場所で、共通のテーマでスポーツフェスティバルを開催すると、バラバラでイベントをおこなうよりも、効果がある。今年度初めて「あまのわ」でスポーツに関連するコンテンツを取り入れて、ファイティングイーグルに協力いただいて、バスケットをおこないました。多くの若者がゴールの前に集まり楽しめる場所となった。アートビレッジのふれあい広場や市役所の駐車場を開放し、団体と団体と一緒に、イベントや事業をおこない市民が集うところにする。1つの団体では、人口減や少子化により、資源が乏しくなるのは仕方がない。沢山の団体が協働して事業を集約することでコストダウンやマンパワーの活用になる。今回、「あまのわ」にスポーツ課が協力。

事務局：スポーツ課は今年度、ファイティングイーグルスとコラボして様々な事業をおこなった。「あまのわ」で、シュートチャレンジ。あま市民デーで、試合観戦事業。中学校において挨拶運動、デモンストレーション。ファイティングイーグルスの協力は必要不可欠であった。その他、今年はオリンピックイヤー、加納虹輝選手の活躍があり、本庁舎、各体育館、「あまのわ」でもメダルを借り展示した。2回だけ金メダルを展示した時がありましたが、集客の成功は、SNS等を利用して発信協力し合いマッチング・コラボを考えている。

会 長：意見交換テーマ「スポーツへの関心を高める機会の提供」多くの

意見に感謝ありがとうございます。事務局と私で、提言等の内容につきまして方向性をまとめ、皆さんに提示の予定。

委員一同：了承。

会 長：賛同を得る。次回の会議において整理したものを報告予定。

本日の議題は、全て終了。

5 その他

事務局：次回の令和7年度第1回あま市スポーツ推進連絡会議は、令和7年7月頃を予定。日程が決まり次第案内。

会 長：以上を持ちまして、本日の連絡会議は終了。